

# 令和3年度 学生募集要項 —音楽学部—

[一般選抜]  
[社会人選抜]  
[私費外国人留学生選抜]

□障がい有する等の入学志願者との事前相談の申し出期限  
令和3年1月21日(木)午後5時まで

□出願期間  
令和3年1月25日(月)～2月5日(金)  
※2月5日(金)郵送発信局消印有効

□試験日程  
(前期日程試験)  
○音楽表現専攻声楽コース：令和3年2月25日(木)、27日(土)  
○音楽表現専攻ピアノコース：令和3年2月27日(土)  
○音楽表現専攻弦楽コース：令和3年2月27日(土)  
○音楽表現専攻管打楽コース：令和3年2月27日(土)  
○音楽表現専攻作曲理論コース：令和3年2月25日(木)、2月27日(土)  
○音楽文化専攻：令和3年2月25日(木)、2月27日(土)  
○琉球芸能専攻琉球古典音楽コース：令和3年2月27日(土)  
○琉球芸能専攻琉球舞踊組踊コース：令和3年2月25日(木)、27日(土)  
(追試験)  
全専攻・全コース：令和3年3月23日(火)、24日(水)

□合格者の発表  
(前期日程試験)  
令和3年3月5日(金)午前10時 ※本学ホームページ掲載(合格通知書の発送)  
(追試験)  
令和3年3月26日(金)午前10時 ※本学ホームページ掲載(合格通知書の発送)

□入学手続期間  
令和3年3月8日(月)～3月14日(日)  
3月14日(日)午後5時までに必着

◇新型コロナウイルス感染拡大の状況をふまえ、安全かつ円滑に入学選抜試験を実施するため、遠隔による試験を導入します。また、今後の状況によっては入試科目の見直し、試験方法及び日程を変更する場合があります。その場合は大学ホームページで告知します。



令和2年9月

沖縄県立芸術大学

〒903-8602 沖縄県那覇市首里当蔵町1丁目4番地  
電話 (098)882-5080  
<http://www.okigei.ac.jp>  
メールアドレス [kyomu@okigei.ac.jp](mailto:kyomu@okigei.ac.jp)

# 令和3年度 沖縄県立芸術大学 音楽学部学生募集要項

## 目 次

第1	アドミッション・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、 ディプロマ・ポリシー	1
第2	募集人員	4
第3	一般選抜	
1	出願資格	4
2	選抜方法等	5
3	個別学力検査等の試験科目と日程	7
4	出願手続	9
5	受験票	12
6	受験上の注意	12
7	合格者の発表	12
8	入学手続	13
9	入試成績開示	13
第4	学校推薦型選抜	14
第5	社会人選抜	
1	出願資格	14
2	選抜方法等	14
3	出願手続	15
4	受験票	17
5	受験上の注意	17
6	合格者の発表	17
7	入学手続	18
第6	私費外国人留学生選抜	
1	出願資格	18
2	選抜方法等	19
3	個別学力検査等の試験科目と日程	19
4	出願手続	19
5	受験票	21
6	受験上の注意	21
7	合格者の発表	22
8	入学手続	22
9	その他	23
第7	教員免許状	23
◎	学生生活	23
◎	一般選抜入学願書、写真票・受験票の記入例	25
※	出願用書類（綴込用紙）	
○	一般選抜入学願書（前期日程試験）【薄黄色紙（薄紫色字）】	
○	一般選抜（前期日程試験）写真票・受験票【薄黄色紙】	
○	社会人選抜入学願書・履歴書、写真票・受験票、志願理由書【薄緑色紙】	
○	私費外国人留学生選抜入学願書、写真票・受験票【黄色紙】	
○	一般選抜音楽文化専攻沖縄文化コース・音楽学コース小論文解答用紙【白色紙】	
○	社会人選抜琉球芸能専攻小論文解答用紙【白色紙】	
○	領収書・領収書原符（一般（前期日程試験）・社会人・私費外国人留学生選抜共通） 【白色紙】	
○	受験票送付用封筒（一般（前期日程試験）・社会人・私費外国人留学生選抜共通） 【薄茶色封筒】	
○	出願書類提出用封筒（一般（前期日程試験）・社会人・私費外国人留学生選抜共通） 【薄茶色封筒】	

# 令和3年度 沖縄県立芸術大学 音楽学部学生募集要項

## 第1 アドミッション・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシー

### 沖縄県立芸術大学アドミッション・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシー

#### ■アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

##### 1 教育の理念

沖縄県立芸術大学の建学の基本的な精神は、沖縄文化が造りあげてきた個性の美と人類普遍の美を追究することにあります。これに基づき、伝統芸術の継承と発展にとどまらず、新たな芸術創造の可能性を広げ、幅広く芸術分野で活躍できる人材を育成していきます。さらに、学生の専門的力量を高め、豊かな人間性と社会性を身につける教育を目指します。

##### 2 本学の求める人材

- ・本学の教育の理念をよく理解し、学習に必要な基礎的知識・技能を備えている人
- ・芸術に強い関心があり、自ら課題を発見し解決するための思考力や判断力、表現力を備えている人
- ・多様な芸術文化に興味を持ち、主体的に人々と協働し、現代社会に向けて新しい芸術創造の営みを発信していく意欲に満ちた人

##### 3 入学者選抜区分

- ・本学では一般選抜、学校推薦型選抜及び社会人選抜を実施します。

##### 4 入学者選抜試験の基本方針と実施

- ・一般選抜においては、大学及び各学部のアドミッションポリシーに基づき、大学入学共通テストの成績を利用した選抜試験と個別学力検査等（実技検査、小論文、口述試験、面接等）を実施します。なお、大学入学共通テストについて、美術工芸学部では、国語、外国語及びその他任意の1科目の合計3科目を試験科目として課します。音楽学部では、国語、外国語の合計2科目を試験科目として課します。
- ・学校推薦型選抜においては、実技検査、小論文、面接等を実施します。
- ・音楽学部の社会人選抜においては、個別学力検査等（専攻試験、小論文等）を実施します。

いずれの試験においても、本学での学習に必要な「学力の3要素（知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性等）」を測り評価します。

#### ■カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

沖縄県立芸術大学のカリキュラムは、ディプロマ・ポリシーに掲げる学修成果を獲得できるよう、4年間を通して全学教育科目を選択履修し、全学年にわたり専門分野の実技や理論を基礎から高度な内容まで、段階的に履修することを基本に授業科目を編成します。

その上で、さまざまな技術や学問を幅広く主体的に学べるよう配慮し、学生の多様な個性を尊重しつつ、自ら感性を磨き、社会との関係を考え発信していく能力を高める教育を行います。

#### ■ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）

沖縄県立芸術大学では、大学及び各学部の教育理念に沿った専門教育と教養教育において成果をあげ、最終学年における卒業作品又は卒業論文の提出あるいは卒業演奏を経て、所定の卒業単位を取得した学生に対し、学士（芸術）の学位を授与します。

その際、学生が獲得しておくべき学修成果は以下のとおりです。

- 1 美術工芸又は音楽の分野における基本的な知識を体系的に理解し、その知識体系の意味と自己の存在を歴史や文化、社会と関連付けて理解している。
- 2 知的活動や職業生活、社会生活においても必要となるコミュニケーション能力、論理的思考力、問題解決力などの汎用的基礎能力を身につけている。
- 3 卒業後も社会的責任を認識し、生涯を通じて自律的に学び続ける能力を身につけている
- 4 1から3までの知識や能力等を総合的に活用し、創造的な思考力をもって自らの課題を探索し、解決する能力を身につけている。

## 音楽学部アドミッション・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシー

沖縄県立芸術大学音楽学部では、沖縄の地で育まれた個性の美である伝統芸能はもとより、西洋・東洋にわたる芸術音楽を体系的に研究教授し、将来、実演家、教育者、研究者をはじめとして、音楽芸術分野において社会に貢献できる人材の養成をめざします。

豊かな表現力と高い技術力、そして理論的思考力を涵養し、それらを総合して現代社会に新たな価値をもたらすことのできる人材を育成します。

### ■アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

大学の教育理念に基づき、沖縄県立芸術大学音楽学部では、沖縄で育まれた個性ある音楽・芸能及び普遍的価値を持つ音楽芸術の体系的な研究を通じ、それらの継承発展とともに新たな芸術創造に寄与できる人材育成を目指します。そのために、専門分野における知識・技能を深めるとともに、広い視野を持って思考し、問題解決を行うために必要な教養を身につける教育を行います。

#### 【求める人材】

音楽学部の教育を達成するために、次に掲げる知識・技能や能力（思考力・判断力・表現力等）、目的意識・意欲等を備えた人材を求めます。

- 1 本学及び音楽学部のポリシーを十分理解し、大学での学習に自律的に取り組むことのできる人
- 2 音楽学部における学習に必要な基礎的知識・技能及び課題解決のための思考力・判断力・表現力を備えている人
- 3 自身の知識・技能をさらに伸ばし、将来、演奏家、作曲家、実演家、研究者又は教育者など、音楽・芸能分野における専門家となる意欲のある人
- 4 芸術創造の営みについて、現代社会との関わりの中で思考し、主体性を持って多様な人々と協働する意欲のある人
- 5 音楽や舞踊、沖縄における芸術文化や本学での学びに関心がある人

#### 【入学者選抜試験の基本方針と実施】

音楽学部においては、学部の教育理念を踏まえ、各専攻の専門性に沿った試験を課し評価します。その際、大学入学前に学んでおくべき内容・水準について、募集要項と併せて公表する『試験曲』によって明示するものとします。また、専攻ごとに設定された多様な入試科目において、「学力の3要素（基礎的な知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力、主体性・多様性・協働性等）」を総合的に評価します。なお、入試区分及び募集枠ごとに、総合点に基づき合格者の選抜を行います。

各入試区分における評価方法は以下の通りです。

- 1 一般選抜では、大学入学共通テストにおいて国語、外国語の2科目を課し、大学での学習に必要な知識・技能、思考力等を測り評価します。また、個別学力検査等において、専攻試験（実技検査、小論文、口述試験等）、音楽に関する基礎能力検査（楽典、聴音、新曲視唱、副科ピアノ等）及び面接を課し、専門分野における基礎的能力、主体性及び将来性を測り評価します。本区分においては、全般的な学習能力について総合的に評価します。面接においては多面的・総合的な評価を行うために、調査書及び志願者本人の記載する資料等を活用します。
- 2 学校推薦型選抜では、専攻試験（実技検査、小論文、口述試験等）、音楽に関する基礎能力検査（楽典、聴音、新曲視唱、副科ピアノ等）及び面接を課し、大学での学習に必要な知識、技能及び主体性等を測り評価します。本区分においては、専門分野における高い能力、調査書及び志願者本人の記載する書類等をもとに実施する面接等における評価を重視します。また、高等学校長からの推薦書を活用します。
- 3 社会人選抜では、専攻試験（実技検査、小論文、口述試験等）を課し、大学での学習に必要な知識、技能、思考力及び主体性などを測り評価します。本区分では、専攻実技の習熟度及び小論文・口述試験の内容を重視し評価します。

### ■カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

音楽学部では、沖縄の地で育まれた伝統芸能とともに、世界の芸術音楽を体系的に教授し、将来、実演家・教育者・研究者ならびに広く音楽芸術分野に貢献できる人材の育成をめざします。

上記の人材を育成することを目標として、大学カリキュラム・ポリシーを基本に次のとおりカリキュラムを編成し、実施します。

- 1 少人数による教育
- 2 専門教育の4年間にわたる段階的履修
- 3 専門分野の実技と理論における体系的・横断的な授業科目の編成

- 4 全学教育科目における芸術諸分野及び教養に関する教育
- 5 地域社会との連携を図り社会との関係を学ぶ科目の提供
- 6 学生の多様な関心に対応し学習できる選択科目の設定

学修成果の評価は、評価の観点を示した上で授業科目の到達目標の達成度を基準に、演奏・演舞・作品・実践・レポート・筆記試験等により行います。

#### ■ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）

沖縄県立芸術大学音楽学部では、大学ディプロマ・ポリシーに基づき、以下に掲げる学修成果を修め、最終学年における卒業演奏又は卒業作品、卒業論文、卒業研究の提出を経て、所定の卒業単位を取得した学生に対し、学士（芸術）の学位を授与します。

- 1 音楽・芸能の各分野における専門的な知識と実演、創作等の技能を修得していること。
- 2 大学の学修で養った汎用的基礎能力を活かし、主体的に研究を継続し、それらを社会に発信できる能力を備えていること。

## 第2 募集人員

学科・専攻別募集人員は、次のとおりである。

学 科	専 攻	コ ー ス	入 学 定 員	募 集 人 員				
				一 般 選 抜		学 校 推 薦 型 選 抜	社 会 人 選 抜	私 費 外 国 人 留 学 生 選 抜
				前 期	後 期			
音 楽 学 科	音 楽 表 現 専 攻	声 楽	23	17	0	6	0	若干名
		ピ ア ノ						
		弦 楽						
		管 打 楽						
		作 曲 理 論						
	音 楽 文 化 専 攻	沖 縄 文 化	7	4	0	3	0	若干名
		音 楽 学						
	琉 球 芸 能 専 攻	琉 球 古 典 音 楽	10	5	0	5	若干名	若干名
		琉 球 舞 踊 組 踊						
	計			40	26	0	14	若干名

注1：学校推薦型選抜の入学手続き完了者が募集人員に満たない場合は、満たない分を前期日程の募集人員に加える。

注2：社会人選抜・私費外国人留学生選抜の募集人員は、ともに一般選抜の前期日程の募集人員に含む。

## 第3 一般選抜

### 1 出願資格

次の各号の一に該当し、かつ、本学音楽学部が指定する令和3年度大学入学共通テストの教科・科目（6ページの別表参照）を受験した者

- (1) 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び令和3年3月卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者（通常の課程以外の課程により、これに相当する学校教育を修了した者を含む。）及び令和3年3月修了見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者及び令和3年3月修了見込みの者並びにこれに準ずる者で学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号。以下「法施行規則」という。）第150条第1号の規定により文部科学大臣の指定したもの
- (4) 文部科学大臣が法施行規則第150条第2号の規定により高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び令和3年3月修了見込みの者
- (5) 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の法施行規則第150条第3号の規定により文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が同号の規定により指定するものを文部科学大臣が同号の規定により定める日以後に修了した者
- (6) 法施行規則第150条第4号の規定により文部科学大臣の指定した者
- (7) 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（同令附則第2条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13号）による大学入学資格検定に合格した者を含む。）及び令和3年3月31日までに合格見込みの者
- (8) 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、18歳に達したもの（事前に資格認定審査を行うので、令和2年10月16日（金）までに本学教務学生課に申し出ること。）

## 2 選抜方法等

### (1) 選抜方法

音楽学部的一般選抜は、分離・分割方式の前期日程により行う。2段階選抜、帰国子女等の特別選抜、定員一部保留第2次募集は行わない。

### (2) 合否判定基準

第1次試験の合否判定は、専攻別試験のそれぞれの成績によって行う。ただし、音楽文化専攻においては大学入学共通テストの成績も、第1次試験の合否判定に用いる。

最終合否判定は、専攻別試験、音楽に関する基礎能力検査及び大学入学共通テストの得点、並びに調査書の結果を総合的に判断して合格者を決定する。

### (3) 大学入学共通テスト

受験を要する教科・科目及び配点等は、6ページの別表による。

### (4) 遠隔入試

新型コロナウイルス感染拡大の状況をふまえ、安全かつ円滑に入学者選抜試験を実施するため、遠隔入試を導入する。遠隔入試とは、受験生が来校せずに受験する入試を指し、郵送、オンライン、メール、電話等を利用した試験である。遠隔入試実施の詳細については、別冊子「令和3年度音楽学部試験曲」及び随時大学ホームページにて公表するので、留意すること。

実技検査、小論文、副科ピアノ、音楽又は舞踊の実技は録画物等の提出によるものとする。提出物は出願時に送付すること。

コールユーブンゲン、初見視唱、口述試験、楽典、面接は、オンラインシステム（Zoom等）を使用し、リアルタイムで実施する。

初見演技、聴音、新曲視唱、初見視奏は、今年度は実施しない。

#### ア 音楽学部 音楽学科 音楽表現専攻

【専攻試験】  
【音楽に関する基礎能力検査】  
【面接】

詳細については、別冊子「令和3年度音楽学部試験曲」に記載する。

人物の志向性や学習を行う意欲、芸術を志す者としての資質さらに表現力をみるため、5～10分程度の面接を実施する。

#### イ 音楽学部 音楽学科 音楽文化専攻

【専攻試験】  
【音楽に関する基礎能力検査】  
【面接】

詳細については、別冊子「令和3年度音楽学部試験曲」に記載する。

人物の志向性や学習を行う意欲、芸術を志す者としての資質さらに表現力をみるため、5～10分程度の面接を実施する。

#### ウ 音楽学部 音楽学科 琉球芸能専攻

【専攻試験】  
【音楽に関する基礎能力検査】  
【面接】

詳細については、別冊子「令和3年度音楽学部試験曲」に記載する。

人物の志向性や学習を行う意欲、芸術を志す者としての資質さらに表現力をみるため、5～10分程度の面接を実施する。

### (5) 追試験

試験日に新型コロナウイルス感染症等に罹患し受験できなかった入学志願者は、令和3年3月23日（火）、3月24日（水）に追試験として受験することができる。その場合は医師の診断書の提出が必要。

詳細については対象者に大学より連絡を行う。

令和3年度 沖縄県立芸術大学 入学者選抜試験の実施教科・配点等について

学部及び 〔令和2年度 志願倍率〕	学科等 名等 員定	学力検査等の 区分・ 日程	大学入学共通テスト の利用教科・科目名		個別学力検査等			大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等												
			教科	科目名等	教科等	科目名等	試験の区分	国語	外国語 *英(R:L)	専攻 試験	音楽に 関する基礎 能力検査	面接	配点 合計							
														2段 階選 抜						
音楽学部 (2.1) 40人 前期 前 推 薦 14	音楽表現 専攻 推 薦 6	学校推薦 型選 抜 11/21~ 22	免除	その他	〔声乐コース〕 実技検査、コーレコミュニケーション、 楽典、副科ピアノ、面接 〔ピアノコース〕 実技検査、楽典、面接 〔弦楽・管打楽コース〕 実技検査、楽典、副科ピアノ、面接 〔作曲理論コース〕 実技検査、口述試験、副科ピアノ、面接	その他	個別学力検査等	個別学力検査等	200	500	200	50	750							
														その他	個別学力検査等	200	500	200	50	750
	音楽文化 専攻 推 薦 3	琉球古典 音楽コース	その他	その他	〔沖縄文化コース〕 小論文、口述試験、楽典、 音楽または舞踊の実技、面接 〔音楽学コース〕 小論文、口述試験、副科ピアノ、 面接	その他	個別学力検査等	個別学力検査等	100	600	100	50	750							
														その他	個別学力検査等	100	600	100	50	750
														その他	個別学力検査等	100	600	100	50	750
音楽学部 (2.1) 40人 前期 前 推 薦 14	音楽表現 専攻 推 薦 6	一般選 抜前期 2/25~ 2/27	国語 を必ず受験 英、独、仏、中、韓から1 を必ず受験 (英語はリスニングテストを含む。) 〔2教科2科目〕	その他	〔声乐コース〕 実技検査、コーレコミュニケーション、 副科ピアノ、面接 〔ピアノコース〕 実技検査、楽典、面接 〔弦楽・管打楽コース〕 実技検査、楽典、副科ピアノ、面接 〔作曲理論コース〕 実技検査、口述試験、 副科ピアノ、面接	その他	大学入学共通テスト	大学入学共通テスト	100 (50:50)	550	200	50	800							
														その他	個別学力検査等	100	550	200	50	1000
	音楽文化 専攻 推 薦 4	琉球古典 音楽コース	その他	その他	〔沖縄文化コース〕 小論文、口述試験、楽典、 音楽または舞踊の実技、面接 〔音楽学コース〕 小論文、口述試験、 副科ピアノ、面接	その他	大学入学共通テスト	大学入学共通テスト	200 (100:40)	400	200	50	650							
														その他	個別学力検査等	200	400	200	50	1050
														その他	個別学力検査等	200	400	200	50	1050
音楽文化 専攻 推 薦 5	琉球古典 音楽コース	その他	その他	〔琉球古典音楽コース〕 実技検査、楽典、面接 〔琉球舞踊組踊コース〕 実技検査、初見視唱、楽典、面接	その他	大学入学共通テスト	大学入学共通テスト	100 (50:50)	600	150	50	800								
													その他	個別学力検査等	100	600	150	50	1000	
音楽文化 専攻 推 薦 5	琉球古典 音楽コース	その他	その他	〔琉球古典音楽コース〕 実技検査、小論文、口述試験、面接 〔琉球舞踊組踊コース〕 実技検査、初見視唱、小論文、口述試験、面接	その他	大学入学共通テスト	大学入学共通テスト	100 (50:50)	600	350	50	1000								
													その他	個別学力検査等	100	600	350	50	1000	

【大学入学共通テストの利用教科・科目名】欄

(1) 本学では、大学入学共通テストの過年度成績は利用しない。

(2) 英語については、リーディング(R)とリスニング(L)の配点を(R:L)と表し、その合計得点を各専攻の外国語の配点に換算して利用する。

### 3 個別学力検査等の試験科目と日程

一般選抜の個別学力検査等に係る試験科目と試験日程は、次のとおりである。

#### (1) 試験科目

試験科目 専攻・ コース名		専攻試験 (第1次試験)					音楽に関する基礎能力検査 (第2次試験)						面接
		実技検査	コールユー バソゲン	初見 視唱	小論文	口述試験	楽典 (※注2)	聴音	新曲視唱	副科 <small>(7)</small>	初見視奏	音楽又は 舞踊の実 技 (※注3)	
音楽表現	声楽	○	○				○			○			○
	ピアノ	○					○						○
	弦楽	○					○			○			○
	管打楽	○					○			○			○
	作曲理論	○				○	○			○			○
音楽文化	沖縄文化				○	○	○					○	○
	音楽学				○	○	○			○			○
琉球芸能	琉球古典音楽	○					○						○
	琉球舞踊組踊	○		○			○						○

注1：○印は、受験者が必ず受験しなければならない科目を示す。

注2：沖縄文化コース及び琉球芸能専攻の楽典については、音楽表現専攻及び音楽学コースの楽典とは別問題とする。

注3：音楽又は舞踊の実技の種目は問わない。

注4：声楽、弦楽、管打楽、琉球古典音楽コース入学志願者の専攻試験の種目は以下のとおりである。

(声楽) ソプラノ、メゾソプラノ、アルト、カウンターテノール、テノール、バリトン、バス

(弦楽) ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス

(管打楽) フルート、オーボエ、クラリネット、ファゴット、サクソフォーン、ホルン、トランペット、テナー・トロンボーン、バス・トロンボーン、チューバ、打楽器 (A：小太鼓、B：マリンバ)

(琉球古典音楽) 歌三線、琉球箏曲

注5：弦楽コースのヴァイオリンを第1志望とする入学志願者は、第2志望としてヴィオラを受験することができる。その場合には、第1志望の試験科目の他に第2志望の実技検査を受験しなければならない。

注6：各専攻の個別学力検査等(実技検査を含む)については、第1次試験と第2次試験に分けて実施するが、第2次試験については、第1次試験合格者についてのみ実施する。

\*ピアノコースでは、令和4年度選抜から音楽に関する基礎能力検査において初見視奏を廃止し、新曲視唱を課す。

【併願可能な専攻・コース】

第2志望		音楽表現					音楽文化		琉球芸能	
		声楽	ピアノ	弦楽	管打楽	作曲理論	沖縄文化	音楽学	琉球古典音楽	琉球舞踊組踊
第1志望										
音楽表現	声楽					○	○	○		
	ピアノ	○				○	○	○		
	弦楽					○	○	○		
	管打楽					○	○	○		
	作曲理論	○					○	○		
音楽文化	沖縄文化							○	○	○
	音楽学	○					○			
琉球芸能	琉球古典音楽						○			○
	琉球舞踊組踊						○		○	

注：併願の場合には、第1志望の試験科目（専攻試験、音楽に関する基礎能力検査）に加えて、第2志望の専攻試験を受験しなければならない。

ただし、

- ①音楽学コースと沖縄文化コースを併願する場合は、音楽に関する基礎能力検査では音楽学コースの科目を受験すること。
- ②音楽表現専攻の各コースと沖縄文化コースを併願する場合は、音楽に関する基礎能力検査では、受験する音楽表現専攻各コースの試験科目を受験すること。
- ③第2志望で作曲理論コースを併願する場合は、音楽に関する基礎能力検査では作曲理論コースの試験科目を受験すること。（ピアノコースを除く）

(2) 試験日程

時間については、個別に連絡する。指定された時間の10分前にはオンライン接続できるよう待機すること。

専攻・ コース 月日	音楽表現					音楽文化		琉球芸能	
	声楽	ピアノ	弦楽	管打楽	作曲理論	沖縄文化	音楽学	琉球古 典音楽	琉球舞 踊組踊
令和3年 2月25日 (木)	コーロ・ブソフン				作曲実技 口述試験	口述試験	口述試験		初見 視唱
2月26日 (金)	第1次試験合格者の発表 (12:00以降)								
2月27日 (土)	楽典	楽典	楽典	楽典	楽典	楽典	楽典	楽典	楽典
	面接								

注意：この日程は予定であり、志願状況によって変わることがある。

追試験 令和3年3月23日（火）、24日（水） 詳細は該当者に連絡する。

(3) 試験内容及び試験曲等

試験内容及び試験曲等については、別冊子「令和3年度音楽学部試験曲」に記載されている。

沖縄県立芸術大学音楽学部では、過去3年間の入学試験問題をホームページ上にて公表している。なお、希望者は事前に本学教務学生課（098-882-5080）に確認し、返信用封筒（角形2号、必要分の切手を貼り、住所・氏名を明記すること）を同封の上、本学教務学生課あてに申し込むこと。

4 出願手続

(1) 出願期間は、令和3年1月25日（月）から2月5日（金）までとする。ただし、2月5日（金）までの郵送発信局消印があるものは有効とする。

（注意）外国から直接出願する場合は、郵送発信局消印日付に関わりなく日本時間の2月5日（金）午後5時までに到着したものを有効とする。

(2) 出願方法

次の出願書類等の所要事項を記入して①～⑦の順序に重ね、本学所定の封筒（綴り込みの教務学生課あての封筒）に入れ、郵送（書留郵便で速達）すること。なお、外国から直接出願する場合は、本学所定の封筒を発送国の状況に合わせて用いること。

出願書類等	摘 要
①入学願書 (綴込用紙)	ア 入学願書は、記入された文字をOCR（光学文字読取装置）で読みとるので、折り曲げたり、汚したりしないこと。 イ 入学願書は、必ず鉛筆又はシャープペンシル（どちらもHB）を使用し、記入例を参考にして楷書で丁寧かつ正確に記入すること。 ウ 試験曲の選択など願書記入箇所が多いので、記入漏れがないよう特に気をつけること。
②受験票・写真票 (綴込用紙)	ア 「受験番号欄」、「出欠確認欄」は記入しないこと。 イ 写真票の成績請求票貼り付け欄内に、大学入試センターから送付されている「令和3年度大学入学共通テスト成績請求票（前期日程用）」を貼り付ける。なお、成績請求票は6種類あるので、間違えないよう注意すること。 ウ 受験票、写真票には、上半身、無帽、正面、出願前3カ月以内に撮影した同一写真（縦4cm、横3cm）を貼り付けること。 エ 第2志望を出願する者は、必ず写真票を2枚提出すること。
③入学考査料	ア 17,000円（納入方法は郵便局が発行する普通為替証書に限る） イ 普通為替証書の指定受取人欄、払渡局欄等は一切記入しないこと。 ウ いったん納入した入学考査料はいかなる理由があっても返還しない。
④領収書・領収書原符 (綴込用紙)	「領収書・領収書原符」は納入義務者欄に志願者本人の住所・氏名を記入し、普通為替証書と一緒に提出すること。
⑤調査書	ア 文部科学省所定の様式に従い、出身高等学校長が作成し厳封したものを提出すること。 イ 高等学校卒業程度認定試験合格者（大学入学資格検定合格者含む）は、調査書に代えて当該試験の合格成績証明書を提出すること。なお、合格証明書は不要とする。ただし、高等学校で修得した科目がある場合は、高等学校の調査書も必ず提出すること。 ウ 廃校・被災等やむを得ない事情で調査書の取得ができない場合、調査書の代わりとして①卒業証明書 ②成績証明書 ③調査書を発行できない旨の文書をそろえて提出すること。ただし③は出身学校長か教育委員会、または知事が作成したものとする。
⑥受験票送付用封筒 (綴込封筒)	本学所定の「受験票在中」の封筒の表に入学志願者の郵便番号、住所、氏名を記入し、速達料金374円分の切手を貼って提出すること。
⑦その他	入学志願者本人か配偶者、又は一親等親族が令和2年4月1日以前から県内に住所を有する者は、合格した場合に入学料が軽減されるので、該当者の住民票抄本を提出すること。なお、住民票抄本が提出されない場合、入学料の算定は県外在住者と同様に扱う。 ----- 外国人は、旅券の写し、又は在留カード（もしくは外国人登録証明書）の表裏両面の写しを提出すること。 ----- 音楽表現専攻・琉球芸能専攻入学志願者は、実技検査の録画媒体（DVD、USBメモリ、SDカードのいずれか）を提出すること。（作曲理論コースを除く） ----- 作曲理論コース入学志願者は、受験者自身の作曲または編曲作品の楽譜を提出すること。提出楽譜の大きさは1ページA4判を基準とする。提出楽譜は返却しない。 ----- 音楽文化専攻入学志願者は、本学所定の解答用紙（綴込用紙）を使用して、小論文を提出すること。 ----- 音楽文化専攻沖縄文化コース入学志願者は音楽又は舞踊の実技の録画媒体（DVD、USBメモリ、SDカードのいずれか）を提出すること。 ----- 音楽表現専攻声楽コース、弦楽コース、管打楽コース、作曲理論コース、音楽文化専攻音楽学コース入学志願者は、副科ピアノの録画媒体（DVD、USBメモリ、SDカードのいずれか）を提出すること。

※⑦録画媒体の本体またはケースに、受験するコース、試験科目名、氏名を記入し、郵送中に破損しないように梱包すること。提出された録画媒体は返却しない。

## 「普通為替証書」見本

### (3) 出願先

〒903-8602 沖縄県那覇市首里当蔵町1丁目4番地  
沖縄県立芸術大学事務局教務学生課 電話 098-882-5080 (直通)

### (4) 出願上の注意

- ア 本学の前期日程に出願する場合は、他の同日程で試験を行う国公立大学・学部には重複出願できない。
- イ 入学志願者は、本学が課した大学入学共通テストの教科・科目を受験していることを確認してから出願すること。
- ウ 他の国公立大学・学部の学校推薦型選抜合格者は、当該学校推薦型選抜を実施する大学・学部の定める推薦入学辞退手続きにより辞退した場合を除いて、本学を受験することができない。たとえ受験しても、受験者として扱われない。
- エ 本学前期日程試験に合格し令和3年3月14日（日）までに入学手続きを行った者は、他の国公立大学・学部の「公立大学中期日程（旧C日程）」試験及び「後期日程」試験を受験していてもその合格者とならない。
- オ 出願後は、志望専攻（コース）の変更を認めない。
- カ 出願書類に記入漏れ、その他不備のある場合は受理しない。
- キ 入学願書等の記載事項に虚偽の記載がある場合は、入学後でも入学許可を取り消すことがある。
- ク **声楽コース入学志願者及び声楽コースを第2志望とする入学志願者は、次の中から1声種を選択し、出願すること。**
  - ソプラノ、メゾソプラノ、アルト、カウンターテノール、テノール、バリトン、バス
- ケ **弦楽コース、管打楽コース入学志願者は、次の楽器の中から1種を選択し、出願すること。**
  - (弦楽器) ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス
  - (管打楽器) フルート、オーボエ、クラリネット、ファゴット、サクソフォーン、ホルン、トランペット、テナートロンボーン、バストロンボーン、チューバ、打楽器（A：小太鼓、B：マリンバ）
- コ **弦楽コースのヴァイオリンを第1志望とする入学志願者のうち、ヴィオラを第2志望とする入学志願者は、願書の該当する項目を選択し、出願すること。**
- サ **琉球芸能専攻琉球古典音楽コース入学志願者及び琉球古典音楽コースを第2志望とする入学志願者は、次の中から1種を選択し、出願すること。**
  - 歌三線、琉球箏曲

### (5) 障がい等を有する等の入学志願者との事前相談について

- 障がいのある者等は、受験上及び修学上の配慮を必要とする可能性があるため、令和3年1月21日（木）午後5時までに申し出ること。
- また、申し出に基づき相談が必要となった場合は以下による。

ア 相談の方法 相談申込書（健康診断書等必要書類添付）を提出するものとし、必要な場合は、本学において入学志願者又はその立場を代弁し得る出身学校関係者等との面談等を行う。

イ 連絡先 沖縄県立芸術大学事務局教務学生課 電話番号 (098) 882-5080

## 5 受験票

- (1) 出願書類を本学において審査し、受験資格があると認めた入学志願者には、受験票を送付する。試験当日は、その受験票と大学入学共通テスト受験票を必ず持参すること。
- (2) 受験票が、令和3年2月15日（月）までに送付されていない時は、本学教務学生課に連絡のうえ、書留郵便受領証をもって申し出ること。

## 6 受験上の注意

- (1) 受験者にはパソコン、スマートフォン、タブレット等の通信機器と、インターネット回線に接続できる通信環境を用意し、試験時には個室に1人に対応できる環境を整えることを求める。  
なお、事前に接続テストを行うので、その際も同じ環境で行うこと。
- (2) 試験に使用できる通信機器は1台とし（緊急時を除く）、試験中は電源に接続するか、事前に充電を行い、試験中に電源が切れることのないようにすること。
- (3) オンラインシステム（Zoom等）の使用できる環境を用意すること。また、本学より連絡するので接続テストができるように準備しておくこと。
- (4) 受験者は、指定時刻にオンライン接続できるよう待機すること。なお、試験当日は、余裕を持って待機すること。
- (5) 第2志望を出願した者は、受験すべき科目を間違えないように特に注意すること。
- (6) 試験中の録画・録音は禁止する。
- (7) 通信機器が接続不可能となった場合は大学(098-882-5080)と連絡をとり、対応を相談すること。
- (8) 試験中に不正行為が発覚した場合は、失格とする。また、試験の実施後に不正行為が発覚した場合についても、失格または合格取消とする。
- (9) 試験当日は、「本学受験票」と「大学入学共通テスト受験票」を必ず携帯すること。
- (10) 指定時刻に遅れた者は、原則として受験を許可しない。ただし、やむを得ない事情（公的事情）により遅刻した場合は、ただちに大学に申し出ること。
- (11) 試験時間中は、監督者の指示に従うこと。
- (12) 試験日に新型コロナウイルス感染症等に罹患し受験できなかった者は、令和3年3月23日（火）、24日（水）に追試験を受験することができる。その場合は医師の診断書の提出が必要。
- (13) 試験の内容に関する質問には、一切答えない。

## 7 合格者の発表

- (1) 第1次試験合格者の発表は、9ページの「試験日程」に示した日時に本学ホームページ（<http://www.okigei.ac.jp>）に受験番号を掲載する。

- (2) 最終合格者の発表

令和3年3月5日（金）（午前10時）に本学ホームページ（<http://www.okigei.ac.jp>）に受験番号を掲載するとともに、本人あてに合格通知書及び入学者心得（入学手続書類）を日本国内の合格通知受信場所へ郵送する。なお、本学への直接の問い合わせには応じない。

**ホームページによる合格者等案内**

- (1) 入学志願者状況案内 2月1日（月）10:00～2月15日（月）17:00
- (2) 合格者発表案内 3月5日（金）10:00～3月19日（金）17:00

- (3) 追試験合格者の発表

令和3年3月26日（金）（午前10時）に本学ホームページ（<http://www.okigei.ac.jp>）に受験番号を掲載する。合格者には入学意思の確認を行うので、26日は確実に連絡できるようにしておくこと。

#### (4) 追加合格者の発表

入学手続終了後、入学定員に欠員が生じた場合には、3月28日（日）以降に「追加合格者の決定」を行い、本人に直接連絡（電話等）するので、3月28日（日）から3月31日（水）までの間、確実に連絡できるようにしておくこと。（連絡は大学から行い、受験者からの問い合わせには応じない。）

### 8 入学手続

#### (1) 入学手続期間

令和3年3月8日（月）～3月14日（日）

入学手続書類は、「書留郵便で速達」とし、令和3年3月14日（日）午後5時までの必着とする。  
（注意）消印が3月14日以前であっても3月14日午後5時を過ぎて到着したものは受け付けない。

#### (2) 提出書類

- ア 誓約書（本学指定様式）
- イ 保証書（本学指定様式）
- ウ 高等学校卒業証明書又は卒業見込証明書
- エ 大学入学共通テスト試験受験票（入学手続後、本人に返送）
- オ 入学料領収書の写し（A4サイズでコピー）又は入学料減免申請手続に係る申出書（本学指定様式）
- カ 写真2枚（上半身無帽で正面向、縦3cm×横2.5cm）※出願時（受験票）とサイズが異なるので注意。
- キ その他（入学者心得に詳細説明）

#### (3) 入学料の納入

- ア 入学料 県内居住者 282,000円  
県内居住者以外の者 512,000円

※県内居住者：入学の日（4月1日）の1年以前から引き続き県内に住所を有する者、あるいは、入学の日（4月1日）の1年以前から引き続き県内に住所を有する配偶者又は1親等の親族のある者。

- イ 納入期限 入学料は本学指定の納入通知書により入学手続時までに納入すること。  
※入学料以外の授業料・学外研究費については、23ページの「学生生活」を参照。

#### (4) 入学料の減免について

申請条件 原則として高等学校の学業成績が3.0以上の者で、かつ、次の各号の一に該当する者を対象に、全額免除又は2分の1減額の可否を審査し決定する。

- ①天災その他不慮の災害により、学費の負担に堪えられなくなった者
- ②生活保護法（昭和25年法律第144号）による保護を受けている者と同一世帯内にある者
- ③前記①、②のほか、特別の事情により学費の納付が著しく困難な者

#### (5) 手続送付先 沖縄県立芸術大学事務局教務学生課

#### (6) 留意事項

- ア 令和3年3月14日（日）までに入学手続を完了しなかった者は、入学の意思がなく入学を辞退したものととして取り扱う。なお、入学を辞退する者は、入学手続期間内に入学辞退届（本学指定様式）を提出すること。
- イ 令和3年3月14日（日）までに入学手続を完了した者は、これを取り消して、他の国公立大学に入学手続を取ることはできない。
- ウ いったん納入した入学料や授業料は、原則返還しない。

### 9 入試成績開示

沖縄県個人情報保護条例に基づき、入試成績については、口頭により受験者本人が自己の入試成績の開示を請求することができる。

#### (1) 開示内容

当該年度入試の個人成績を得点で開示する。

#### (2) 開示請求できる期間

令和3年4月16日（金）～令和3年5月15日（土）（午前9時から午後5時まで）

ただし、土・日・祝日等休業となる日は除く。

- (3) 開示請求の受付を行う場所  
沖縄県立芸術大学事務局教務学生課
- (4) 開示の方法  
本人部分のみ閲覧
- (5) 開示請求に必要な書類  
受験票のほか、学生証、運転免許証、旅券その他官公署の発行する証明書等の一つを持参すること。
- (6) 開示請求  
受験者本人が、口頭で本学教務学生課に申し出ること。
- (7) その他  
電話による開示内容の問い合わせには応じない。また、県内離島あるいは県外在住者で来学が困難な者の郵送での対応は、沖縄県個人情報保護条例に基づく手続が必要となる。手続方法については、沖縄県のホームページを参照のこと。

## 第4 学校推薦型選抜

学校推薦型選抜は、別途発行している「令和3年度学校推薦型選抜学生募集要項」による。

## 第5 社会人選抜

### 1 出願資格

次の各号の一に該当し、令和3年4月1日現在社会人（就職の有無は問わない）として4年以上経過し、かつ22歳以上の者

- (1) 高等学校又は中等教育学校を卒業した者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者（通常の課程以外の課程により、これに相当する学校教育を修了した者を含む。）
- (3) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者及びこれに準ずる者で学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号。以下「法施行規則」という。）第150条第1号の規定により文部科学大臣の指定したもの
- (4) 文部科学大臣が法施行規則第150条第2号の規定により高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
- (5) 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の法施行規則第150条第3号の規定により文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が同号の規定により指定するものを文部科学大臣が同号の規定により定める日以後に修了した者
- (6) 法施行規則第150条第4号の規定により文部科学大臣の指定した者
- (7) 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（同令附則第2条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13号）による大学入学資格検定に合格した者を含む。）及び令和3年3月31日までに合格見込みの者

### 2 選抜方法等

大学入学共通テストを免除し、志願理由書、履歴書等の出願書類及び実技、小論文、口述試験の成績結果を総合的に判断して合格者を決定する。

(1) 試験科目

試験科目		専攻試験		小論文	口述試験	面接
		実技検査	初見視唱			
専攻・コース	琉球古典音楽	◎		◎	◎	◎
	琉球舞踊組踊	◎	◎	◎	◎	◎

注1：◎印は、受験者が必ず受験しなければならない科目を示している。

注2：琉球古典音楽コース・琉球舞踊組踊コースのいずれかを第1志望とし、他を第2志望として出願することができる。

注3：琉球古典音楽コースを第1志望とし、琉球舞踊組踊コースを第2志望に出願する者は、琉球古典音楽コースの試験科目のほかに、琉球舞踊組踊コースの専攻試験（実技検査、初見視唱）を受験すること。

注4：琉球舞踊組踊コースを第1志望とし、琉球古典音楽コースを第2志望に出願する者は、琉球舞踊組踊コースの試験科目のほかに、琉球古典音楽コースの専攻試験（実技検査）を受験すること。

(2) 試験日程

専攻・コース	琉球芸能専攻	
	琉球古典音楽	琉球舞踊組踊
令和3年 2月25日（木）		初見視唱
2月26日（金）	第1次試験合格者の発表（12：00以降）	
2月27日（土）	口述試験、面接	

注意：この日程は予定であり、志願状況によって変わることがある。

追試験 令和3年3月23日（火）、24日（水） 詳細は該当者に連絡する。

(3) 試験内容及び試験曲等

試験内容及び試験曲等については、別冊子「令和3年度音楽学部試験曲」に記載されている。

3 出願手続

(1) 出願期間は、令和3年1月25日（月）から2月5日（金）までとする。ただし、2月5日（金）までの郵送発信局消印があるものは有効とする。

（注意）外国から直接出願する場合は、郵送発信局消印日付に関わりなく日本時間の2月5日（金）午後5時までに到着したものを有効とする。

(2) 出願方法

次の出願書類等の所要事項を記入して①～⑧の順序に重ね、本学所定の封筒（綴り込みの教務学生課あての封筒）に入れ、郵送（書留郵便で速達）すること。なお、外国から直接出願する場合は、本学所定の封筒を発送国の状況に合わせて用いること。

出願書類等	摘 要
①入学願書・履歴書 （綴込用紙）	ア 本学所定の用紙に所要事項を漏れなく記入すること。 イ 記入はすべてペン又はボールペン（黒又は青）を使用し、楷書で丁寧かつ正確に記入すること。 ウ 訂正した箇所には、必ず訂正印を押すこと。

②受験票・写真票 (綴込用紙)	ア 「受験番号欄」、「出欠確認欄」は記入しないこと。 イ 受験票、写真票には、上半身、無帽、正面、出願前3カ月以内に撮影した同一写真(縦4cm、横3cm)を貼り付けること。
③入学考査料	ア 17,000円(納入方法は郵便局が発行する普通為替証書に限る) イ 普通為替証書の指定受取人欄、払渡局欄等は一切記入しないこと。 ウ いったん納入した入学考査料はいかなる理由があっても返還しない。
④領収書・領収書原符 (綴込用紙)	「領収書・領収書原符」は納入義務者欄に志願者本人の住所・氏名を記入し、普通為替証書と一緒に提出すること。
⑤最終学校の卒業証明書等	高等学校以上の最終学歴を証明する卒業証明書か高等学校卒業程度認定試験合格証明書(大学入学資格検定合格証明書含む)、又はその他14ページの出願資格を証明する書類等を提出すること。
⑥志願理由書 (綴込用紙)	本学所定の用紙を使用して、本人自身が記入のうえ提出すること。
⑦受験票送付用封筒 (綴込封筒)	本学所定の「受験票在中」の封筒の表に入学志願者の郵便番号、住所、氏名を記入し、速達料金374円分の切手を貼って提出すること。
⑧その他	<p>入学志願者本人が配偶者、又は一親等親族が令和2年4月1日以前から県内に住所を有する者は、合格した場合に入学料が軽減されるので、該当者の住民票抄本を提出すること。 なお、住民票抄本が提出されない場合、入学料の算定は県外在住者と同様に扱う。</p> <p>-----</p> <p>外国人は、旅券の写し、又は在留カード(もしくは外国人登録証明書)の表裏両面の写しを提出すること。</p> <p>-----</p> <p>実技検査の録画媒体(DVD、USBメモリ、SDカードのいずれか)を提出すること。</p> <p>-----</p> <p>本学所定の解答用紙(綴込用紙)を使用して、小論文を提出すること。</p>

※⑧録画媒体の本体またはケースに、受験するコース、試験科目名、氏名を記入し、郵送中に破損しないように梱包すること。提出された録画媒体は返却しない。

「普通為替証書」見本

(3) 出願先

〒903-8602 沖縄県那覇市首里当蔵町1丁目4番地  
 沖縄県立芸術大学事務局教務学生課 電話 098-882-5080 (直通)

#### (4) 出願上の注意

- ア 出願書類の入学志願者の氏名は、通称・略字等は使用せず、楷書で丁寧かつ正確に記入すること。
- イ 出願書類に記入漏れ、その他不備のある場合は受理しない。
- ウ 出願書類の受付後は、出願書類の返却及び記載事項の変更は一切認めない。
- エ 入学願書等の記載事項に虚偽の記載がある場合は、入学後でも入学許可を取り消すことがある。
- オ 琉球古典音楽コース入学志願者及び琉球古典音楽コースを第2志望とする入学志願者は、次の中から1種を選択し出願すること。  
歌三線、琉球箏曲

#### (5) 障がい等を有する等の入学志願者との事前相談について

障がいのある者等は、受験上及び修学上の配慮を必要とする可能性があるため、令和3年1月21日(木)午後5時までに申し出ること。

また、申し出に基づき相談が必要となった場合は以下による。

- ア 相談の方法 相談申込書(健康診断書等必要書類添付)を提出するものとし、必要な場合は、本学において入学志願者又はその立場を代弁し得る出身学校関係者等との面談等を行う。
- イ 連絡先 沖縄県立芸術大学事務局教務学生課  
電話番号 (098) 882-5080

### 4 受験票

- (1) 出願書類を本学において審査し、受験資格があると認めた入学志願者には、受験票を送付する。試験当日は、その受験票を必ず持参すること。
- (2) 受験票が、令和3年2月15日(月)までに送付されていない時は、本学教務学生課に連絡のうえ、書留郵便受領証をもって申し出ること。

### 5 受験上の注意

- (1) 受験者にはパソコン、スマートフォン、タブレット等の通信機器と、インターネット回線に接続できる通信環境を用意し、試験時には個室に1人で対応できる環境を整えることを求める。  
なお、事前に接続テストを行うので、その際も同じ環境で行うこと。
- (2) 試験に使用できる通信機器は1台とし(緊急時を除く)、試験中は電源に接続するか、事前に充電を行い、試験中に電源が切れることのないようにすること。
- (3) オンラインシステム(Zoom等)の使用できる環境を用意すること。また、本学より連絡するの接続テストができるように準備しておくこと。
- (4) 受験者は、指定時刻にオンライン接続できるよう待機すること。なお、試験当日は、余裕を持って待機すること。
- (5) 試験中の録画・録音は禁止する。
- (6) 通信機器が接続不可能となった場合は大学(098-882-5080)と連絡をとり、対応を相談すること。
- (7) 試験中に不正行為が発覚した場合は、失格とする。また、試験の実施後に不正行為が発覚した場合についても、失格または合格取消とする。
- (8) 試験当日は、「本学受験票」を必ず携帯すること。
- (9) 指定時刻に遅れた者は、原則として受験を許可しない。ただし、やむを得ない事情(公的事情)により遅刻した場合は、ただちに大学に申し出ること。
- (10) 試験時間中は、監督者の指示に従うこと。
- (11) 試験日に新型コロナウイルス感染症等に罹患し受験できなかった者は、令和3年3月23日(火)、24日(水)に追試験を受験することができる。その場合は医師の診断書の提出が必要。
- (12) 試験の内容に関する質問には、一切答えない。

### 6 合格者の発表

- (1) 第1次試験合格者の発表は、15ページの「試験日程」に示した日時に本学ホームページ(<http://www.oki>)

gei.ac.jp) に受験番号を掲載する。

## (2) 最終合格者の発表

令和3年3月5日(金)(午前10時)に本学ホームページ(<http://www.okigei.ac.jp>)に受験番号を掲載するとともに、本人あてに合格通知書及び入学者心得(入学手続書類)を日本国内の合格通知受信場所へ郵送する。なお、本学への直接の問い合わせには応じない。

### ホームページによる合格者等案内

- (1) 入学志願者状況案内 2月1日(月)10:00～2月15日(月)17:00
- (2) 合格者発表案内 3月5日(金)10:00～3月19日(金)17:00

## (3) 追試験合格者の発表

令和3年3月26日(金)(午前10時)に本学ホームページ(<http://www.okigei.ac.jp>)に受験番号を掲載する。合格者には入学意思の確認を行うので、26日は確実に連絡できるようにしておくこと。

## 7 入学手続

### (1) 入学手続期間 令和3年3月8日(月)～3月14日(日)

入学手続書類は、「書留郵便で速達」とし、令和3年3月14日(日)午後5時までの必着とする。  
(注意) 消印が3月14日以前であっても3月14日午後5時を過ぎて到着したものは受け付けない。

### (2) 提出書類

- ア 誓約書(本学指定様式)
- イ 保証書(本学指定様式)
- ウ 入学料領収書の写し(A4サイズでコピー)又は入学料減免申請手続に係る申出書(本学指定様式)
- エ 写真2枚(上半身無帽で正面向、縦3cm×横2.5cm) ※出願時(受験票)とサイズが異なるので注意。
- オ その他(入学者心得に詳細説明)

### (3) 入学料の納入

- ア 入学料 県内居住者 282,000円  
県内居住者以外の者 512,000円

※県内居住者：入学の日(4月1日)の1年以前から引き続き県内に住所を有する者、あるいは、入学の日(4月1日)の1年以前から引き続き県内に住所を有する配偶者又は1親等の親族のある者。

- イ 納入期限 入学料は本学指定の納入通知書により入学手続時までには納入すること。

※入学料以外の授業料・学外研究費については、23ページの「学生生活」を参照。

### (4) 入学料の減免について

一般選抜と同様に取り扱う。(13ページ参照)

### (5) 手続送付先 沖縄県立芸術大学事務局教務学生課

### (6) 留意事項

ア 令和3年3月14日(日)までに入学手続を完了しなかった者は、入学の意思がなく入学を辞退したものと取り扱う。なお、入学を辞退する者は、入学手続期間内に入学辞退届(本学指定様式)を提出すること。

イ 令和3年3月14日(日)までに入学手続を完了した者は、これを取り消して、他の国公立大学に入学手続を取ることはできない。

ウ いったん納入した入学料や授業料は、原則返還しない。

## 第6 私費外国人留学生選抜

### 1 出願資格

次の各号のすべてに該当し、かつ、入学時において18歳以上の者とする。

#### (1) 日本の国籍を有しない者

- (2) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者及び令和3年3月修了見込みの者、又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの（国際バカロレア資格、アビトゥア資格（ドイツ連邦共和国）又はバカロレア資格（フランス共和国）を取得した者を含む。）
- (3) 独立行政法人日本学生支援機構が実施する2020年度（令和2年度）第1回又は第2回日本留学試験における出題言語を日本語とする日本語及び総合科目を受験した者
- (4) 出入国管理及び難民認定法において、大学入学に支障のない在留資格（留学等）を有する者
- (5) 修学に必要な日本語の能力を有する者
- （注意）日本の国籍を有しない者で、日本の高等学校における3年間の教育課程を履修し、かつ、卒業した者（令和3年3月卒業見込みの者を含む。）については、私費外国人としてではなく一般志願者と同様に扱う。

## 2 選抜方法等

大学入学共通テストを免除し、以下に掲げる内容を総合的に判断して合格者を決定する。

- ①2020年度（令和2年度）第1回又は第2回日本留学試験における出題言語を日本語とする日本語及び総合科目の成績
- ②一般志願者と同一の個別学力検査等を課した成績
- ③出願書類等

## 3 個別学力検査等の試験科目と日程

一般選抜と同様に実施する。（7～9ページ参照）ただし、大学入学共通テストは免除する。

## 4 出願手続

- (1) 出願期間 令和3年1月25日（月）～2月5日（金）
- (2) 願書の提出は、「書留郵便で速達」とし郵送すること。日本国内から郵送したものは、2月5日（金）までの郵送発信局消印があるものは有効とする。  
（注意）外国から直接出願する場合は、郵送発信局消印日付にかかわらず日本時間の2月5日（金）午後5時までに到着したものを有効とする。
- (3) 出願方法

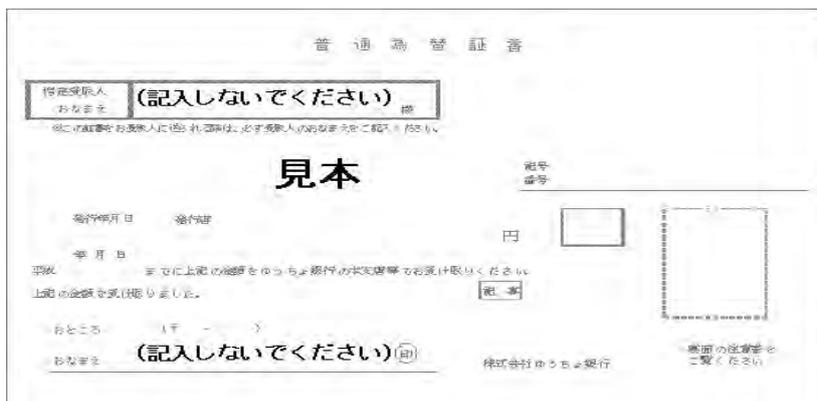
日本国内から出願する場合は、次の出願書類等の所要事項を記入して①～⑧の順序で重ね、本学所定の封筒（綴り込みの教務学生課あての封筒）に入れ、郵送（書留郵便で速達）すること。また、外国から直接出願する場合は、本学所定の封筒を発送国の状況に合わせて用いること。

出願書類等	摘 要
①入学願書 （綴込用紙）	ア 本学所定の用紙に所要事項を漏れなく記入すること。 イ 記入はすべてペン又はボールペン（黒又は青）を使用し、楷書で丁寧かつ正確に記入すること。 ウ 「氏名欄」は、下の欄に入学志願者の氏名を記入し、上の欄に入学志願者の氏名をカタカナで記入すること。 エ 「在留資格欄」は、入学志願者の有する在留資格について記入すること。 オ 「最終学歴欄」は、卒業（修了）年月日、学校名、所在地を記入すること。 カ 「資格試験欄」は、国際バカロレア資格等大学入学に必要な資格を取得している者はその取得年月日、名称を記入すること。 キ 独立行政法人日本学生支援機構が実施した2020年度（令和2年度）第1回又は第2回日本留学試験の受験番号を記入すること。 ク 試験曲の選択など願書記入箇所が多いので、記入漏れがないよう特に気をつけること。 ケ 「学歴欄」は、すべての教育機関にわたって、学校名、所在地名、修業年限、入学年月日、卒業（修了）年月日を年月順に記入すること。
②受験票・写真票 （綴込用紙）	ア 「受験番号欄」、「出欠確認欄」は記入しないこと。 イ 受験票と写真票には、上半身、無帽、正面、出願前3カ月以内に撮影した同一写真（縦4cm、横3cm）を貼り付けること。
③入学考査料	ア 17,000円（納入方法は郵便局が発行する普通為替証書に限る） イ 普通為替証書の指定受取人欄、払渡局欄等は一切記入しないこと。 ウ いったん納入した入学考査料はいかなる理由があっても返還しない。

④領収書・領収書原符（綴込用紙）	「領収書・領収書原符」は納入義務者欄に住所・氏名を記入し、普通為替証書と一緒に提出すること。
⑤最終学校の卒業証明書及び成績証明書等	日本の高等学校に相当する学校を卒業した者は卒業証明書及び成績証明書を、国際バカロレア資格等を有する者は資格証明及び成績証明書を提出すること。 なお、日本の高等学校に相当する学校の卒業のうち学校教育年限の合計が12年に満たない者は、日本の文部科学大臣が指定した教育施設の修了証明書を合わせて提出すること。
⑥旅券の写し又は在留カード等の写し	外国人は、旅券の写し、又は在留カード（もしくは外国人登録証明書）の表裏両面の写しを提出すること。
⑦受験票送付用封筒（綴込封筒）	本学所定の「受験票在中」の封筒の表に入学志願者の郵便番号、住所、氏名を記入し、速達料金374円分の切手を貼って提出すること。
⑧その他	<p>入学志願者本人が配偶者、又は一親等親族が令和2年4月1日以前から県内に住所を有する者は、合格した場合に入学料が軽減されるので、該当者の住民票抄本を提出すること。 なお、住民票抄本が提出されない場合、入学料の算定は県外在住者と同様に扱う。</p> <p>音楽表現専攻・琉球芸能専攻入学志願者は、実技検査の録画媒体（DVD、USBメモリ、SDカードのいずれか）を提出すること。（作曲理論コースを除く）</p> <p>作曲理論コース入学志願者は、受験者自身の作曲または編曲作品の楽譜を提出すること。提出楽譜の大きさは1ページA4判を基準とする。提出楽譜は返却しない。</p> <p>音楽文化専攻入学志願者は、本学所定の解答用紙（綴込用紙）を使用して、小論文を提出すること。</p> <p>音楽文化専攻沖縄文化コース入学志願者は音楽又は舞踊の実技の録画媒体（DVD、USBメモリ、SDカードのいずれか）を提出すること。</p> <p>音楽表現専攻声楽コース、弦楽コース、管打楽コース、作曲理論コース、音楽文化専攻音楽学コース入学志願者は、副科ピアノの録画媒体（DVD、USBメモリ、SDカードのいずれか）を提出すること。</p>

※⑧録画媒体の本体またはケースに、受験するコース、試験科目名、氏名を記入し、郵送中に破損しないように梱包すること。提出された録画媒体は返却しない。

「普通為替証書」見本



(4) 出願先

〒903-8602 沖縄県那覇市首里当蔵町1丁目4番地  
 沖縄県立芸術大学事務局教務学生課 電話 098-882-5080（直通）

(5) 出願上の注意

- ア 出願後は、志望専攻（コース）の変更を認めない。
- イ 出願書類に記入漏れ、その他不備のある場合は受理しない。

- ウ 入学願書等の記載事項に虚偽の記載がある場合は、入学後でも入学許可を取り消すことがある。
- エ 声楽コース入学志願者及び声楽コースを第2志望とする入学志願者は、次の中から1声種を選択し、出願すること。  
ソプラノ、メゾソプラノ、アルト、カウンターテノール、テノール、バリトン、バス
- オ 弦楽コース、管打楽コース入学志願者は、次の楽器の中から1種を選択し、出願すること。  
(弦楽器) ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス  
(管打楽器) フルート、オーボエ、クラリネット、ファゴット、サクソフォーン、ホルン、トランペット、テナートロンボーン、バストロンボーン、チューバ、打楽器 (A:小太鼓、B:マリンバ)
- カ 弦楽コースのヴァイオリンを第1志望とする入学志願者のうち、ヴィオラを第2志望とする入学志願者は、願書の該当する項目を選択し、出願すること。
- キ 琉球芸能専攻琉球古典音楽コース入学志願者及び琉球古典音楽コースを第2志望とする入学志願者は、次の中から1種を選択し、出願すること。  
歌三線、琉球箏曲

#### (6) 障がい等を有する等の入学志願者との事前相談について

障がいのある者等は、受験上及び修学上の配慮を必要とする可能性があるため、令和3年1月21日(木)午後5時までに申し出ること。

また、申し出に基づき相談が必要となった場合は以下による。

- ア 相談の方法 相談申込書(健康診断書等必要書類添付)を提出するものとし、必要な場合は、本学において入学志願者又はその立場を代弁し得る出身学校関係者等との面談等を行う。
- イ 連絡先 沖縄県立芸術大学事務局教務学生課  
電話番号 (098) 882-5080

## 5 受験票

- (1) 出願書類を本学において審査し、受験資格があると認めた入学志願者には、受験票を送付する。試験当日は、その受験票と旅券(パスポート)を必ず持参すること。
- (2) 受験票が、令和3年2月15日(月)までに送付されていない時は、本学教務学生課に連絡のうえ、書留郵便受領証をもって申し出ること。

## 6 受験上の注意

- (1) 受験者にはパソコン、スマートフォン、タブレット等の通信機器と、インターネット回線に接続できる通信環境を用意し、試験時には個室に1人に対応できる環境を整えることを求める。  
なお、事前に接続テストを行うので、その際も同じ環境で行うこと。
- (2) 試験に使用できる通信機器は1台とし(緊急時を除く)、試験中は電源に接続するか、事前に充電を行い、試験中に電源が切れることのないようにすること。
- (3) オンラインシステム(Zoom等)の使用できる環境を用意すること。また、本学より連絡するので接続テストができるように準備しておくこと。
- (4) 受験者は、指定時刻にオンライン接続できるよう待機すること。なお、試験当日は、余裕を持って待機すること。
- (5) 第2志望を出願した者は、受験すべき科目を間違えないように特に注意すること。
- (6) 試験中の録画・録音は禁止する。
- (7) 通信機器が接続不可能となった場合は大学(098-882-5080)と連絡をとり、対応を相談すること。
- (8) 試験中に不正行為が発覚した場合は、失格とする。また、試験の実施後に不正行為が発覚した場合についても、失格または合格取消とする。
- (9) 試験当日は、「本学受験票」と「旅券(パスポート)」を必ず携帯すること。
- (10) 指定時刻に遅れた者は、原則として受験を許可しない。ただし、やむを得ない事情(公的事情)により遅刻した場合は、ただちに大学に申し出ること。

- (11) 試験時間中は、監督者の指示に従うこと。
- (12) 試験日に新型コロナウイルス感染症等に罹患し受験できなかった者は、令和3年3月23日（火）、24日（水）に追試験を受験することができる。その場合は医師の診断書の提出が必要。
- (13) 試験の内容に関する質問には、一切答えない。

## 7 合格者の発表

- (1) **第1次試験合格者の発表**は、9ページの「試験日程」に示した日時に本学ホームページ（<http://www.okigei.ac.jp>）に受験番号を掲載する。
- (2) **最終合格者の発表**  
令和3年3月5日（金）（午前10時）に本学ホームページ（<http://www.okigei.ac.jp>）に受験番号を掲載するとともに、本人あてに合格通知書及び入学者心得（入学手続書類）を合格通知受信場所へ郵送する。なお、本学への直接の問い合わせには応じない。

### ホームページによる合格者等案内

- (1) 入学志願者状況案内 2月1日（月）10:00～2月15日（月）17:00
- (2) 合格者発表案内 3月5日（金）10:00～3月19日（金）17:00

- (3) **追試験合格者の発表**

令和3年3月26日（金）（午前10時）に本学ホームページ（<http://www.okigei.ac.jp>）に受験番号を掲載する。合格者には入学意思の確認を行うので、26日は確実に連絡できるようにしておくこと。

## 8 入学手続

- (1) **入学手続期間** 令和3年3月8日（月）～3月14日（日）

入学手続書類は、「書留郵便で速達」とし、令和3年3月14日（日）午後5時までの必着とする。  
（注意）消印が3月14日以前であっても3月14日午後5時を過ぎて到着したものは受け付けない。

- (2) **提出書類**

- ア 誓約書（本学指定様式）
- イ 保証書（本学指定様式）
- ウ 住民票の写し（または住民票記載事項証明書）もしくは、外国人登録原票記載事項証明書
- エ 入学料領収書の写し（A4サイズでコピー）又は入学料減免申請手続に係る申出書（本学指定様式）
- オ 写真2枚（上半身無帽で正面向、縦3cm×横2.5cm）※出願時（受験票）とサイズが異なるので注意。
- カ その他（入学者心得に詳細説明）

- (3) **入学料の納入**

- ア **入学料** 県内居住者 282,000円  
県内居住者以外の者 512,000円  
※県内居住者：入学の日（4月1日）の1年以前から引き続き県内に住所を有する者、あるいは、入学の日（4月1日）の1年以前から引き続き県内に住所を有する配偶者又は1親等の親族のある者。
- イ 納入期限 入学料は本学指定の納入通知書により入学手続時までには納入すること。  
※入学料以外の授業料・学外研究費については、23ページの「学生生活」を参照。

- (4) **入学料の減免について**

選抜と同様に取り扱う。（13ページ参照）

- (5) **手続場所** 沖縄県立芸術大学事務局教務学生課

- (6) **留意事項**

- ア 令和3年3月14日（日）までに入学手続を完了しなかった者は、入学の意思がなく入学を辞退したものと取り扱う。なお、入学を辞退する者は、入学手続期間内に入学辞退届（本学指定様式）を提出すること。
- イ 令和3年3月14日（日）までに入学手続を完了した者は、これを取り消して、他の国公立大学に入学手続を取ることはできない。

ウ いったん納入した入学料や授業料は、原則として返還しない。

## 9 その他

私費外国人留学生の募集に関する上記以外の事項については、一般選抜の入学志願者に関する募集要項に定める事項に準じて扱う。

## 第7 教員免許状

教育職員免許法に定められた所定の単位を修得すれば、中学校教諭1種免許状（音楽）と高等学校教諭1種免許状（音楽）を取得することができる。

## 学 生 生 活

### 1 入学料及び授業料

- (1) 入学料 県内居住者 282,000円  
県内居住者以外の者 512,000円
- (2) 授業料 年額 535,800円（内訳 前期分267,900円、後期分267,900円）  
納入期限 前期授業料は各年度の4月30日まで、後期授業料は各年度の10月31日までに納入すること。  
ただし、納入期限が土・日曜日又は国民の祝日にあたる場合は、その翌日までに納入すること。
- (3) 入学料及び授業料の減免  
原則として高等学校の学業成績が3.0以上の者で、かつ、次の各号の一に該当する者を対象に、全額免除又は2分の1減額の可否を審査し決定する。
- ①天災その他不慮の災害により、学費の負担に堪えられなくなった者
  - ②生活保護法（昭和25年法律第144号）による保護を受けている者と同一世帯内にある者
  - ③前記①、②のほか、特別の事情により学費の納付が著しく困難な者

### 2 授業料以外に必要な経費

琉球芸能専攻では、次の経費が必要となる。

- ①琉球古典音楽コース 約70,000円（黒朝・ハチマチ・長着稽古着代）
- ②琉球舞踊組踊コース 約14,000円（長着稽古着代）

また、3・4年次に予定してる学外研究費（選択科目）の経費として、実施年次に約150,000円が必要となる。

音楽学部音楽学科音楽文化専攻沖縄文化コースでは、3年次に行われる必修科目の経費として、県外施設等で研修する場合は、実施年次に80,000円～120,000円程度が必要となる。

### 3 奨学金制度

本学の学生で、人物、学力ともに優れ、かつ、経済的理由により修学が困難と認められる者には、次の奨学金制度がある。

- (1) 日本学生支援機構奨学金（貸与・給付）
- (2) （公財）沖縄県国際交流・人材育成財団奨学金（貸与）（沖縄県出身者のみ）
- (3) （公財）沖縄県立芸術大学芸術振興財団奨学金（給付）
- (4) その他（地方公共団体、財団法人、その他奨学金制度の適用）

#### 4 学生教育研究災害傷害保険及び学研災付帯賠償責任保険並びに学研災付帯学生生活総合保険への加入

学生教育研究災害傷害保険（以下「学研災」という。）は、学生が①講義、実験・実習等への正課中、②学校行事中、③前記①、②以外で大学の施設にいる間、④大学施設外で大学に届け出た課外活動を行っている間、⑤通学中、⑥学校施設等相互間の移動中に不慮の事故により傷害を受けた場合に、保険金を支給する全国規模の補償制度である。

また、学研災付帯賠償責任保険（以下「付帯賠」という。）は、国内において、学生が正課、学校行事及びその往復中で、他人にケガをさせたり、他人の財物を損壊したことにより被る法律上の損害賠償を補償する。

上記の保険は、保険期間中に応じた少額の掛金を一度納入することにより、当期間中の災害に対し、治療日数及び災害内容に応じた補償がなされるので、万一の事故に備え、本学学生は全員加入すること。

なお、加入手続は、オリエンテーションの際に行う。

学研災付帯学生生活総合保険は、「学研災」及び「付帯賠」の正課・学校行事中を補償する保険では不足すると思われる、24時間補償の保険である。

「学研災」や「付帯賠」とは異なり、保険の加入手続き等は引受保険会社と直接行うこととなる。（加入にあたっては、「学研災」や「付帯賠」に加入している学生に限り加入できる。）

※「学研災」及び「付帯賠」保険に係る掛金（保険料）と保険期間

	掛金（保険料）合計金額 （4年間分）	保険期間
学生教育研究災害傷害保険 学研災付帯賠償責任保険	4,660円	4年

（注）この保険に関する照会は、沖縄県立芸術大学事務局教務学生課に行うこと。

#### 5 その他

- （1）本学には、学生寮施設がないので、学生はすべて自宅通学又は借家による通学となる。なお、借家等の情報は、沖縄県立芸術大学事務局教務学生課において提供している。
- （2）入学後の授業等で使用するため、入学までにパソコン（又はタブレット等）及びインターネットに接続できる通信環境を整えておくことが望ましい。推奨される仕様については入学手続き時以降に周知する。
- （3）本学は令和3年4月に公立大学法人に移行する予定。





*声種・楽器	*受験番号
--------	-------

\*は記入しないで下さい。

(入学願書の裏面)

別冊子「令和3年度音楽学部試験曲」を参照の上、試験曲等の記入を行うこと。  
また、第2志望で出願がある場合も、志望専攻等の第2志望にチェックを行い、記入すること。

前期

声楽コース

声楽コース第2志望

課題曲	(調： )	
自由曲	作曲者名	
	曲名	(調： )

※自由曲に課題曲の17曲を含めることはできない。

ピアノコース

ピアノコース第2志望

課題曲	A
	B
	C

弦楽コース

弦楽コース第2志望

課題曲 A	
課題曲 B	

管打楽器コース

※下の表は、打楽器のみA・Bを選択し、B選択者は曲名も記入のこと

管打楽器コース第2志望

選択欄 (○印記入)	内容	曲名
<input type="checkbox"/>	打楽器 A	
<input type="checkbox"/>	打楽器 B 課題曲②の記号と曲名	

琉球古典音楽コース

琉球古典音楽コース第2志望

課題曲	
自由曲	

琉球舞踊組踊コース

琉球舞踊組踊コース第2志望

課題曲	
自由曲	

副科ピアノ(声楽・弦楽・管打楽・作曲理論・音楽学コース入学志願者のみ記入)

作曲者名	
曲名	

音楽又は舞踊の実技(沖縄文化コース入学志願者のみ記入)

音楽実技の場合	曲名(作曲者名)：	使用楽器：
舞踊実技の場合	演目・ジャンル名：	

令和3年度 沖縄県立芸術大学（前期日程試験）  
音楽学部一般選抜写真票

受験番号												
氏名												
志望専攻等	専攻				コース							
写 真 出願前3ヶ月以内に撮影した縦4cm、横3cm（上半身、無帽、正面向）の写真がこのわく内にはりつけること。												
大学入試センターから送付されている「令和3年度 大学入学共通テスト成績請求票(前期日程用)」 （青色で印刷されている）をのり付けすること。												
出欠確認	本学受験票				共通テスト受験票							
	1	2	3	4	1	2	3	4				

令和3年度 沖縄県立芸術大学（前期日程試験）  
音楽学部一般選抜写真票

受験番号												
氏名												
第2志望専攻等	専攻				コース							
写 真 出願前3ヶ月以内に撮影した縦4cm、横3cm（上半身、無帽、正面向）の写真がこのわく内にはりつけること。												
大学入試センターから送付されている「令和3年度 大学入学共通テスト成績請求票(前期日程用)」 （青色で印刷されている）をのり付けすること。												
出欠確認	本学受験票				共通テスト受験票							
	1	2	3	4	1	2	3	4				

（切り離さないこと）

注）第2志望を出願しない者は、記入しないこと。

（切り取り線）

（切り離さないこと）

（切り離さないこと）

令和3年度 沖縄県立芸術大学（前期日程試験）  
音楽学部一般選抜受験票

受験番号												
氏名												
志望専攻等	専攻				コース							
写 真 出願前3ヶ月以内に撮影した縦4cm、横3cm（上半身、無帽、正面向）の写真がこのわく内にはりつけること。												
（注）・試験当日は、本受験票及び大学入学共通テスト受験票の両方を必ず携帯すること。 ・試験中は、指定された位置に置くこと。												

（切り離さないこと）

令和3年度 沖縄県立芸術大学  
音楽学部社会人選抜入学願書

受験番号			・記入は、すべてペン又はボールペン (黒又は青)を使用し、楷書で丁寧に記入すること。 ・太枠線内は記入しないこと ・裏面も必ず記入すること
フリガナ		男・女	
氏名			
生年月日	年	月	
志望専攻・コース等	音楽学部 音楽学科 琉球芸能専攻	第1志望	コース
		第2志望	コース
出願資格	_____立 _____高等学校 _____科 昭和・平成 _____年 _____月卒業(全日制・定時制・通信制) (出身高等学校電話番号 _____)		
現住所	(〒 _____ ) 電話(自宅・寮など)		
メールアドレス			
合格通知書送付先	(〒 _____ ) 携帯電話(本人)		
1 種目区分 (琉球古典音楽コース入学志願者のみいずれか1つに○をする) ※琉球箏曲を選択する者は箏の持参についても○をすること ・歌三線                      ・琉球箏曲  2 課題曲 (曲名を記入する) ・  3 自由曲 (曲名を記入する) ・			

# 履 歴 書

(必ず本人が記入すること)

	年	月	
学歴 (高校卒業以降)			
職歴			
業績			

注) 業績欄には、芸歴その他の活動等を記入すること。

令和3年度 沖縄県立芸術大学  
音楽学部社会人選抜写真票

受験番号	
氏名	
志望専攻等	琉球芸能 専攻 コース
写 真 出願前3ヶ月以内に撮影した縦4cm、横3cm（上半身、無帽、正面向）の写真がこのわく内にはりつけること。	
※ 出欠確認	

令和3年度 沖縄県立芸術大学  
音楽学部社会人選抜写真票

受験番号	
氏名	
第2志望専攻等	琉球芸能 専攻 コース
写 真 出願前3ヶ月以内に撮影した縦4cm、横3cm（上半身、無帽、正面向）の写真がこのわく内にはりつけること。	
※ 出欠確認	

（切り離さないこと）

注）第2志望を出願しない者は、記入しないこと。

（切り取り線）

（切り離さないこと）

（切り離さないこと）

令和3年度 沖縄県立芸術大学  
音楽学部社会人選抜受験票

受験番号	
氏名	
志望専攻等	琉球芸能 専攻 コース
写 真 出願前3ヶ月以内に撮影した縦4cm、横3cm（上半身、無帽、正面向）の写真がこのわく内にはりつけること。	
（注）・試験当日は、本受験票を必ず携帯すること。 ・試験中は、指定された位置に置くこと。	

（切り離さないこと）

受験番号

令和 年 月 日

# 志 願 理 由 書

(必ず本人が記入すること)

1 入学志願者氏名

入学志願者住所

2 出身高等学校名

卒業年月日 昭和・平成 年 月 日 卒業

3 志願理由（進学のための目的、将来の計画、自分の長所や特技等について自薦書となるように詳細に記入すること。併願者については、併願理由も記入すること）

-----

-----

-----

-----

-----

-----

-----

-----

-----

-----

-----

-----

-----

-----

-----

-----

-----

-----

-----

-----

-----

-----

裏へ続く

This image shows a blank sheet of primary-ruled paper. It features a solid black rectangular border. Inside the border, there are 20 horizontal dashed lines, evenly spaced, which serve as guides for handwriting. The paper is otherwise empty, with no text or other markings.

令和3年度（2021年度） 沖縄県立芸術大学  
音楽学部私費外国人留学生選抜入学願書

受験番号				写 真  出願前3か月以内に撮影した縦4cm、横3cm（上半身、無帽、正面向）の写真をこのわく内にはりつけること。
フリガナ				
氏名				
生年月日	年 月 日	性別	男・女	
国籍名				
在留資格				
志望専攻・コース等	第1志望		第2志望	
	専攻 コース 声種・専攻楽器：		専攻 コース 声種・専攻楽器：	
試験曲等	（裏面の別様式に記入して下さい。）			
出願資格	最終学歴	卒業（修了） 年 月 日	年 月 日	
		学 校 名		
		所 在 地		
	資格試験	取得年月日	年 月 日	
		名 称		
本人	現住所	（〒 - ）  電話（自宅・寮など）（ ） - 携帯電話（本人）（ ） -		
メールアドレス				
2020年度（令和2年度）第1回日本留学試験の受験番号				番
2020年度（令和2年度）第2回日本留学試験の受験番号				番

注）・太枠線内は記入しないこと（写真票、受験票についても同じ）。  
 ・第2志望については8ページ参照のこと。  
 ・裏面も記入すること。

*声種・楽器	*受験番号
--------	-------

(入学願書の裏面)

\*は記入しないで下さい。

別冊子「令和3年度音楽学部試験曲」を参照の上、試験曲等の記入を行うこと。  
また、第2志望で出願がある場合も、志望専攻等の□第2志望にチェックを行い、記入すること。

声楽コース

声楽コース第2志望

課 題 曲	(調: )	
自 由 曲	作曲者名	
	曲 名	(調: )

※自由曲に課題曲の17曲を含めることはできない。

ピアノコース

ピアノコース第2志望

課 題 曲	A
	B
	C

弦楽コース

弦楽コース第2志望

課 題 曲 A	
課 題 曲 B	

管打楽コース

管打楽コース第2志望

※下の表は、打楽器のみA・Bを選択し、B選択者は曲名も記入のこと

選択欄 (○印記入)	内容	曲名
	打楽器A	
	打楽器B 課題曲②の記号と曲名	

琉球古典音楽コース

琉球古典音楽コース第2志望

課 題 曲	
自 由 曲	

琉球舞踊組踊コース

琉球舞踊組踊コース第2志望

課 題 曲	
自 由 曲	

副科ピアノ(声楽・弦楽・管打楽・作曲理論・音楽学コース入学志願者のみ記入)

作 曲 者 名	
曲 名	

音楽又は舞踊の実技(沖縄文化コース入学志願者のみ記入)

音楽実技の場合	曲名(作曲者名):	使用楽器:
舞踊実技の場合	演目・ジャンル名:	

合格通知 受信場所	(〒      -      )  電話 (      )      -
--------------	--

## 日本語の学習歴

学 習 機 関 名	所 在 地	学 習 期 間

## 学 歴

学 校 名	所 在 地	修業年限	入 学 年 月 日	卒 業 ( 修 了 ) 年 月 日
		年		
		年		
		年		
		年		
		年		
		年		
以上を通算した全学校教育年数		年		

## 職 歴

職 場 名	所 在 地	勤 務 期 間
		～
		～
		～
		～
		～

令和3年度(2021年度)沖縄県立芸術大学  
音楽学部私費外国人留学生選抜写真票

受験番号													
フリガナ													
氏名													
志望専攻等	専攻				コース								
写 真 出願前3ヶ月以内に撮影した縦4cm、横3cm(上半身、無帽、正面向)の写真がこのわく内にはりつけること。													
出欠確認	本学受験票				旅券(パスポート)								
	1	2	3	4	1	2	3	4					

(切り取り線)

令和3年度(2021年度)沖縄県立芸術大学  
音楽学部私費外国人留学生選抜写真票

受験番号													
フリガナ													
氏名													
第2志望専攻等	専攻				コース								
写 真 出願前3ヶ月以内に撮影した縦4cm、横3cm(上半身、無帽、正面向)の写真がこのわく内にはりつけること。													
出欠確認	本学受験票				旅券(パスポート)								
	1	2	3	4	1	2	3	4					

(切り離さないこと)

注) 第2志望を出願しない者は、記入しないこと。

(切り離さないこと)

(切り離さないこと)

令和3年度(2021年度)沖縄県立芸術大学  
音楽学部私費外国人留学生選抜受験票

受験番号													
フリガナ													
氏名													
志望専攻等	専攻				コース								
写 真 出願前3ヶ月以内に撮影した縦4cm、横3cm(上半身、無帽、正面向)の写真がこのわく内にはりつけること。													
(注) ・試験当日は、本受験票及び旅券(パスポート)の両方を必ず携帯すること。 ・試験中は、指定された位置に置くこと。													

(切り離さないこと)





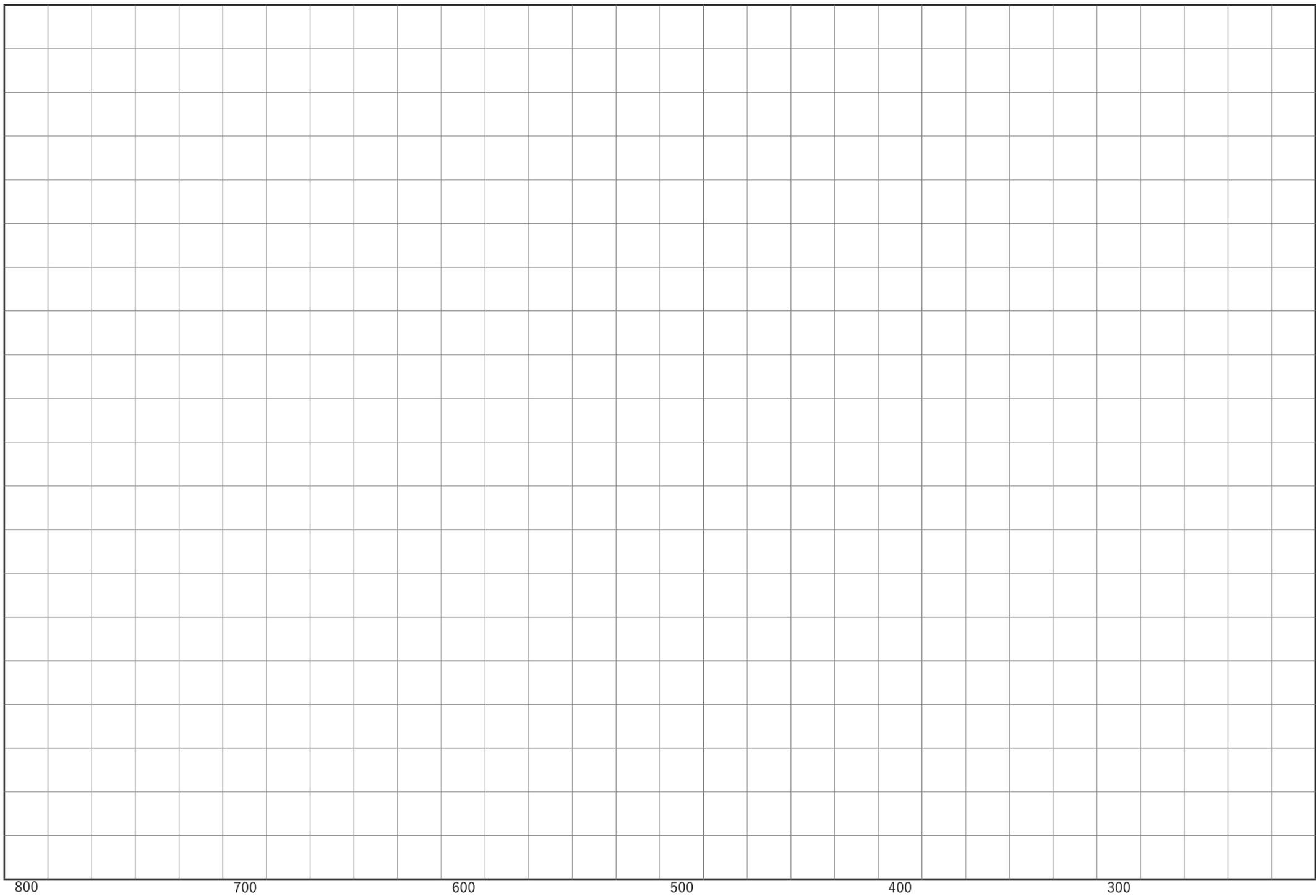












氏  
名

様式第25号

領 収 書		第 号	調 定 番 号	第 号	号		
納入義務者 住所・氏名							
会 計 年 度	令和2年度	一般会計歳入					
金 額	百	拾	万	千	百	拾	円
	¥ 1 7 0 0 0						
内 訳							
種別	摘要						金額
教育手数料	県立芸大入学考査料〔一般(前期)・社会人・外国人〕						¥17,000
	普通為替証書 番号:						
	音楽学部 ※音楽表現・音楽文化・琉球芸能						
上記の金額 令和 年 月 日 領収しました。							

- 1 納入義務者住所・氏名欄に（原符とも）入学志願者住所・氏名を記入すること。（太線枠内）
- 2 ※印は、志願する専攻を○で囲むこと。
- 3 その他の欄は記入しないこと。
- 4 本領収書、領収書原符は銀行用紙ではありません。

(切り離さないこと)

様式第25号

領 収 書 原 符		第 号	調 定 番 号	第 号	号		
納入義務者 住所・氏名							
会 計 年 度	令和2年度	一般会計歳入					
金 額	百	拾	万	千	百	拾	円
	¥ 1 7 0 0 0						
内 訳							
種別	摘要						金額
教育手数料	県立芸大入学考査料〔一般(前期)・社会人・外国人〕						¥17,000
	普通為替証書 番号:						
	音楽学部 ※音楽表現・音楽文化・琉球芸能						
上記の金額 令和 年 月 日 領収しました。							

(切り取り線)

速 達

□	□	□	□	□	□	□
---	---	---	---	---	---	---

切手374円を貼り  
付けること。  
この封筒に郵便番  
号、住所、氏名を  
明記すること。

受験票在中

※ 一般選抜（前期日程試験）  
社会人選抜・私費外国人留学生選抜  
共通

殿

沖縄県立芸術大学事務局教務学生課

〒903-8602 沖縄県那覇市首里当蔵町1丁目4番地

電 話（098）882-5080（直 通）

速 達

9 0 3 8 6 0 2

書留郵便及び  
速達料金の  
切手を貼り  
付けること。

沖縄県那覇市首里当蔵町一―四

沖縄県立芸術大学事務局

教務学生課  
行

書  
留

書留引受番号

差 出 人	出願区分	1 一般選拔出願（前期日程試験） 2 社会人選拔出願 3 私費外国人留学生選拔出願 ※該当する出願区分を○で囲んでください
	志望学部	音楽学部 音楽学科 _____ 学科 _____ 専攻 _____ ( _____ コース)
	住 所	(郵便番号) _____ (電話) ( _____ ) _____ ( _____ 方)
	氏 名	
	出身学校	都道 _____ 学 校 府県 _____ (電話) ( _____ ) _____

※日本国内からの出願は令和三年（二〇二一年）二月五日郵送発信局消印有効  
※外国からの出願は令和三年（二〇二一年）二月五日午後五時必着

次の書類を順序どおりにクリップでとめ、この封筒に入れること。

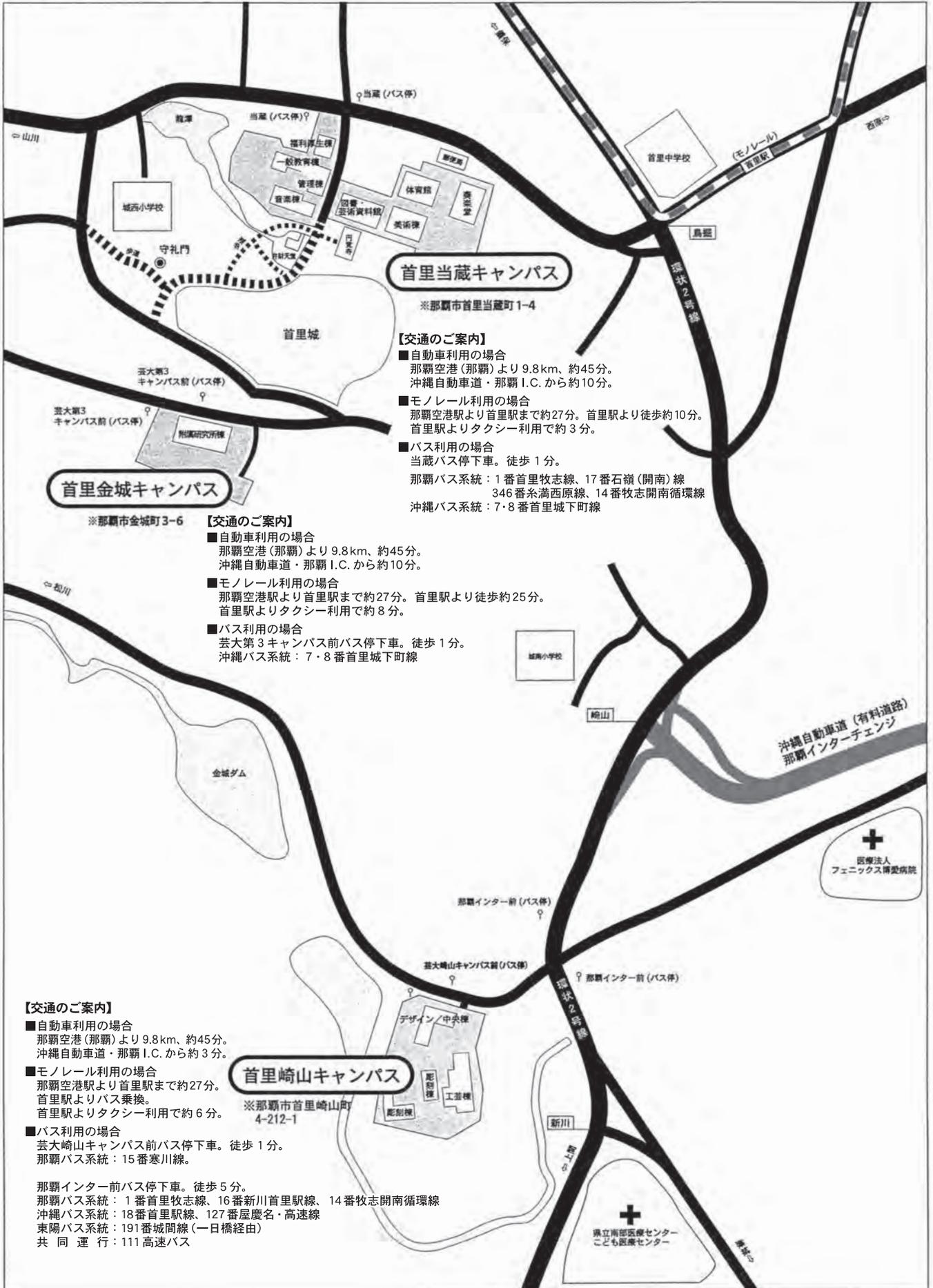
順序	一般選抜（前期日程試験）出願書類の場合
1	入学願書
2	受験票・写真票
3	入学考査料（必ず郵便局の発行する普通為替証書）
4	領収書・領収書原符（住所・氏名を記入したもの）
5	調査書（必ず出身高等学校長が作成し厳封したもの）
6	受験票送付用封筒
7	その他（要提出者のみ）
	実技検査の録画媒体（DVD、USBメモリ、SDカードのいずれか） （音楽表現専攻（作曲理論コースを除く）、琉球芸能専攻入学志願者のみ）
	作品（音楽表現専攻作曲理論コース入学志願者のみ）
	小論文（音楽文化専攻入学志願者のみ）
	副科ピアノの録画媒体（DVD、USBメモリ、SDカードのいずれか） （音楽表現専攻声楽コース、弦楽コース、管打楽コース、作曲理論コース、音楽文化専攻音楽学コース入学志願者のみ）
	音楽又は舞踊の実技の録画媒体（DVD、USBメモリ、SDカードのいずれか） （音楽文化専攻沖縄文化コース入学志願者のみ）

順序	社会人選抜出願書類の場合
1	入学願書・履歴書
2	受験票・写真票
3	入学考査料（必ず郵便局の発行する普通為替証書）
4	領収書・領収書原符（住所・氏名を記入したもの）
5	最終学校の卒業証明書等
6	志願理由書
7	受験票送付用封筒
8	その他（要提出者のみ）
	実技検査の録画媒体（DVD、USBメモリ、SDカードのいずれか）
	小論文

順序	私費外国人留学生選抜出願書類の場合
1	入学願書
2	受験票・写真票
3	入学考査料（必ず郵便局の発行する普通為替証書）
4	領収書・領収書原符（住所・氏名を記入したもの）
5	最終学校の卒業証明書及び成績証明書等
6	旅券の写し又は在留カード（もしくは外国人登録証明書）の表裏両面の写し
7	受験票送付用封筒
8	その他（要提出者のみ）
	実技検査の録画媒体（DVD、USBメモリ、SDカードのいずれか） （音楽表現専攻（作曲理論コースを除く）、琉球芸能専攻入学志願者のみ）
	作品（音楽表現専攻作曲理論コース入学志願者のみ）
	小論文（音楽文化専攻入学志願者のみ）
	副科ピアノの録画媒体（DVD、USBメモリ、SDカードのいずれか） （音楽表現専攻声楽コース、弦楽コース、管打楽コース、作曲理論コース、音楽文化専攻音楽学コース入学志願者のみ）
	音楽又は舞踊の実技の録画媒体（DVD、USBメモリ、SDカードのいずれか） （音楽文化専攻沖縄文化コース入学志願者のみ）

（注）この封筒は1人分のみとし、2人以上を封入しないこと。

# 沖縄県立芸術大学周辺略図



## 首里当蔵キャンパス

※那覇市首里当蔵町1-4

### 【交通のご案内】

- 自動車利用の場合  
那覇空港(那覇)より9.8km、約45分。  
沖縄自動車道・那覇I.C.から約10分。
- モノレール利用の場合  
那覇空港駅より首里駅まで約27分。首里駅より徒歩約10分。  
首里駅よりタクシー利用で約3分。
- バス利用の場合  
当蔵バス停下車。徒歩1分。  
那覇バス系統：1番首里牧志線、17番石嶺(開南)線  
346番糸満西原線、14番牧志開南循環線  
沖縄バス系統：7・8番首里城下町線

## 首里金城キャンパス

※那覇市金城町3-6

### 【交通のご案内】

- 自動車利用の場合  
那覇空港(那覇)より9.8km、約45分。  
沖縄自動車道・那覇I.C.から約10分。
- モノレール利用の場合  
那覇空港駅より首里駅まで約27分。首里駅より徒歩約25分。  
首里駅よりタクシー利用で約8分。
- バス利用の場合  
芸大第3キャンパス前バス停下車。徒歩1分。  
沖縄バス系統：7・8番首里城下町線

## 首里崎山キャンパス

※那覇市首里崎山町4-212-1

### 【交通のご案内】

- 自動車利用の場合  
那覇空港(那覇)より9.8km、約45分。  
沖縄自動車道・那覇I.C.から約3分。
  - モノレール利用の場合  
那覇空港駅より首里駅まで約27分。  
首里駅よりバス乗換。  
首里駅よりタクシー利用で約6分。
  - バス利用の場合  
芸大崎山キャンパス前バス停下車。徒歩1分。  
那覇バス系統：15番寒川線。
- 那覇インター前バス停下車。徒歩5分。  
那覇バス系統：1番首里牧志線、16番新川首里駅線、14番牧志開南循環線  
沖縄バス系統：18番首里駅線、127番屋敷名・高速線  
東陽バス系統：191番城間線(一日橋経由)  
共同運行：111高速バス

